

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P87～90

基本目標	4	人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち
施策目標	1	農水産業の振興
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
効率的で安定的な経営改善が進み、魅力とやりがいのある「農水産業」が営まれるまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)多様な担い手の育成・確保	産業振興課	農地中間管理事業により担い手に農地の集積、集約が図られ、耕作放棄地の発生を防ぎました。JAが積極的に農地中間管理事業の利用推進を行っているため、担い手に農地利用集積が円滑に行われました。	A
	観光課	市の特産品かつ地場産業である金魚養殖の生産技術の向上を図るため、弥富金魚漁業協同組合が行う研修会に対して支援を行うとともに、金魚の展示やイベント等を通じて積極的な情報発信を行うことで、担い手の育成や確保へ繋げるよう努めていますが、担い手の高齢化もあり、事業者数の減少が続いています。	B
(2)農業生産基盤の充実、農産物の生産性の向上、高品質化の促進	産業振興課	令和6年度は農業機械の導入について事業者へ財政的支援を行うことにより、生産性の向上、作業の省力化及びコスト削減に繋げることが出来ました。また、国、県、関係機関等と連携し、かんがい排水施設の整備・更新を行い、農業生産基盤の充実を図りました。	A
(3)環境保全型農業の促進	産業振興課	地球温暖化防止に効果のある堆肥の使用や、化学肥料・化学合成農薬を使用しないことで、生物多様性に効果のある有機農業に取り組むことが出来ました。今後も国際水準の有機農業の実施が求められるため、引き続き関係機関と連携を取り、その体制づくり等を支援する必要があります。	A
(4)農業分野の多様な取組	産業振興課	既存の農家が事業拡大と雇用創出のため、新たな事業を始めることにより、国の交付金を受けるための支援を行うことが出来ましたが、令和6年度は申請がありませんでした。今後も引き続き支援を行い、6次産業化の推進を図る必要があります。	B
(5)内水面養殖漁業の振興	観光課	弥富金魚漁業組合に対して財政支援を行うとともに、弥富金魚が持つ高い知名度、ブランド力を最大限生かし、金魚日本一大会やその他イベントに積極的に参加することで、市内外へ弥富金魚の魅力をもPR・情報発信することができました。	A

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
(1)担い手への農地の利用集積面積	ha	774	866				1,000	◎	
(2)農業用管路の整備延長	km	83.7	91.1				130	△	
(2)経営発展・効率化に必要な農業用機械・施設の導入に対する補助件数(累積)	件	9	15				15	◎	
(3)環境保全効果の高い営農活動実施面積	ha	74	74				85	◎	
(4)地産地消PR件数	件	4	1				5	○	
(4)6次産業化への取組件数	件	1	2				2	◎	

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】 必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)機構集積協力交付金事業	0	★★★★	農地中間管理事業への利用を案内し、集積面積の増加を図ります。	継続 (現状維持)
(2)県営経営体育成基盤整備事業	32,250	★★★★	排水施設整備に対し、継続的に財政支援等を行うことで事業を推進し、農業基盤整備の充実を図る必要があります。	継続 (現状維持)
(2)県営特定農業用管水路特別対策事業 (地盤沈下対策事業(用水路事業分)含む)	23,260	★★★	用水施設整備に対し、継続的に財政支援等を行うことで事業を推進し、農業基盤整備の充実を図る必要があります。	継続 (改善)
(2)多面的機能支払交付金事業	123,246	★★★★	農用地、水路、農道等の地域資源の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。	継続 (現状維持)
(2)経営体育成支援事業	17,229	★★★★	設備投資の支援を行うことにより、農業者等の生産性の向上及び作業の省力化やコスト削減に繋がるため、事業を継続します。	継続 (現状維持)
(3)環境保全型農業直接支払補助事業	3,080	★★★★	環境問題に対する関心が高まる中、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者団体に支援を行っていきます。	継続 (現状維持)
(4)地産地消促進事業	85	★★★★	本市のイベントである「やとみ青空市」の場において、地産地消として地元農産物の消費拡大を押し進めるために、事業の一貫として米の無料配布を行い、地元農産物に対する地産地消のPRを行ってまいります。	継続 (現状維持)
(4)6次産業化活動促進事業	0	★★★★	地域資源を活用した6次産業化に興味がある生産者や事業者と情報を共有し、6次産業化に伴う総合化事業計画などの推進を図ってまいります。	継続 (現状維持)
(5)金魚関係団体活動助成事業	2,235	★★★★	弥富金魚が持つ高い知名度、ブランド力を最大限生かし、金魚日本一大会やその他イベントに積極的に参加し弥富金魚の魅力を伝えることや、愛知県水産試験場の協力のもと弥富金魚漁業協同組合が行う金魚養殖技術の向上を図る研究会を支援しました。今後も、事業を継続し、弥富金魚の魅力の発信及び担い手の確保を図ってまいります。	継続 (現状維持)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】
農業農村整備事業管理計画に基づき排水施設整備や排水機場整備事業に対し、継続的に財政支援等を行い事業推進を図り農業基盤整備の充実を図ります。また、水路や農道等の整備については、多面的機能支払い交付金制度を活用し、地域活動組織が実施する保全管理活動を支援してまいります。農地中間管理機構の利用促進を図り、担い手への農地利用集積を行い優良農地の保全をしていく必要があります。有機農業や減農薬栽培技術を積極的に取り入れ、人や地球環境に配慮した農業を推進してまいります。地産地消及び6次産業化を推進し、消費拡大や新たな産業の創出などを図ります。

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P91～92

基本目標	4	人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち
施策目標	2	商工業の振興
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
中小企業や小規模事業者の経営が安定・活性化し、企業立地や設備投資が進み、雇用の拡大と地域経済の好況が続くまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)商工会の支援・強化	産業振興課	小規模事業指導費補助金や商工会補助金及び街路灯維持管理補助金を交付することで商工会を支援しました。また、経営改善普及事業や地域振興事業により、市内中小企業や事業者の指導育成等を行うことで、商工業の振興を図ることができました。創業者支援については、新規飲食店等開業時に支援金を交付する等の事業を行い、今後も商工会と連携することで各事業の推進を図ります。	B
(2)既存企業の活性化の促進	産業振興課	中小企業や小規模事業者の資金調達の円滑化のため、愛知県と連携し市内及び近隣の金融機関に原資を預託し、市内事業者が融資を受けやすくなるよう利便性の向上を図りました。また、小規模企業等振興資金を受けた事業者に信用保証料の補助を実施し、融資に係る金銭的負担の軽減をしました。今後も事業を継続し、事業者支援を行います。	B
(3)企業誘致の推進	産業振興課	市の特色、交通アクセス等の利便性等をアピールしたチラシ作成し、企業や団体等に向けて周知を行いました。今後も庁内部署の垣根を超えた連携により、更なる企業誘致や市有地の有効活用等に向けて、企業訪問等を積極的に実施していきます。	B
(4)農商工連携の推進	産業振興課	農業者と商工業者が連携し、三ツ又池公園においてイベント「あおぞら市」を開催した。芝桜の咲く中で、多くの来場者が集い、農産物の即売会の実施や、キッチンカーの出店により賑わっていました。今後も引き続き、農商工業が連携した施策の推進を図っていきます。	B

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(2)制度融資利用件数	件	23	29					75	△
(2)信用保証料補助金交付件数	件	18	25					65	△

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)商工団体育成事業	28,275	★★★★	中小企業にとって、商工会の支援は不可欠であるため、今後も商工会を支援していく必要がある。	継続 (現状維持)
(2)中小企業事業資金融資事業	5,964	★★★★	中小企業の経営安定を図るため、今後も継続して保証料の補助を実施していく必要があります。	継続 (現状維持)
(3)企業立地推進事業	8,828	★★★★	奨励金制度は令和7年度をもって終了する予定ですが、企業からどのような支援策が求められているのか調査を行い、企業誘致に向けて必要な施策を検討していきます。	継続 (現状維持)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
市内の事業所について、中小企業や小規模事業者に対する商工会によるサポートや信用保証補助を継続していきます。また、企業立地推進については、名古屋港の背後地である南部地区を始め、鉄道、高速道路等の交通アクセスに恵まれた地域性などをPRし、企業立地の推進を図っていきます。

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P93~94

基本目標	4	人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち
施策目標	3	観光の振興
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
弥富市の魅力が県内外に発信され、多くの人を訪れる魅力あるまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)観光協会の支援	観光課	観光マップやきんちゃんグッズの作成、観光協会のホームページ作成を行うことで、観光情報発信の充実を図りました。しかし、10年以上前から変更のない観光マップの更新や、きんちゃんグッズの販売数を増加させるための新たな販売方法の確立について課題があるため、検討が必要です。	A
(2)観光資源の充実・活用	観光課	桜並木ライトアップ、やとみ桜まつり、海南こどもの国と共催する秋まつり等を開催しました。観光入込客数が天候に左右されるため、柔軟な対応の検討が必要です。	A
(3)観光PR活動の推進と広域観光体制の充実	観光課	YaToMi AQUAを観光拠点として活用するとともに、様々な広報媒体等を通じて市内観光のPRを行いました。広域観光体制は整備されていますが、具体的な事業等は行っておらず課題となっています。	B

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	【CHECK】
(2)観光入込客数	千人	560	583					710	○

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)観光協会補助事業	4,558	★★★★	観光マップやきんちゃんグッズの作成、観光協会のホームページの整備などを行い、観光情報発信の充実を図りました。今後は愛知学院大学及び名古屋造形大学との連携事業により新たな観光マップを作成し、市内観光客に弥富市の魅力を発信します。	継続 (現状維持)
(2)市内イベント開催事業	17,328	★★★★	桜並木ライトアップ、やとみ桜まつりや海南こどもの国と共催する秋まつり等を開催しました。今後も事業を継続し、観光入込客数の増加を図ります。	継続 (現状維持)
(3)観光PR事業	4,881	★★★★	YaToMi AQUAを観光拠点として活用するとともに、様々な広報媒体等を通じて市内観光のPRを行いました。今後も全国に誇る特産品である「弥富金魚」を活用したイベントを市内外で継続実施し、観光情報の発信を行います。	継続 (現状維持)
(3)広域観光体制充実等事業	220	★★★★	近隣市町村及び木曾三川下流地区広域観光連携協議会等と、それぞれの特産品等のPR活動や情報共有を行いました。今後はあいち海部地域観光ネットワーク協議会による広域観光マップの作成に協力し、連携強化を図っていきます。	継続 (現状維持)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
弥富まちなか交流館を観光拠点として、より多くの方が目に触れる媒体であるSNSを活用した情報発信をはじめ、市内外で開催されるイベントにおいて、本市の特産品である金魚を活用した「大作戦（金魚すくい）」を実施し、顔の見える情報発信にも取り組んでいきます。また、交流館におけるマスコミ取材等の依頼が増加しており、本市観光資源のメディア露出をさらに増加させるため、愛知県フィルムコミッション協議会への加入について検討を進めます。

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P95～96

基本目標	4	人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち
施策目標	4	雇用対策・勤労者福祉・消費者保護の充実
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
安定した雇用が確保され、快適に働くことができ、安全な消費生活が営まれるまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)雇用機会の確保と雇用の促進	産業振興課	県や地域のハローワークと連携し、就業相談や情報等を事業者等に周知し、若者や女性、高齢者、障がい者の雇用促進の啓発を図りました。	B
(2)勤労者福祉の充実	産業振興課	最低賃金や労働環境の向上等を事業者等に周知・啓発することで、働きやすい環境づくりの促進を図りました。今年度はファミリーフレンドリー企業に新たに参加する企業はありませんでしたが、ワーク・ライフ・バランスに向けた取り組みを推進できるよう、引き続き啓発活動を実施していきます。	B
(3)消費生活相談の充実	産業振興課	海部地域消費生活センターを中心に消費者教育に関する「出前講座」を開催しました。また、介護高齢課が所管する地域ケア会議と連携を図り、消費者安全確保地域協議会を設置することで、高齢者の消費者トラブルの見守りや情報共有を行いました。その他、啓発事業や消費生活相談を行い、消費者の安全確保に努めました。	B

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	【CHECK】
(2)ファミリーフレンドリー企業登録数	件	8	9					12	○
(3)消費生活相談件数	件	158	190					170	○

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)企業立地推進事業(再掲)	8,828	★★★★	奨励金制度は令和7年度をもって終了する予定ですが、企業からどのような支援策が求められているのか調査を行い、企業誘致に向けて必要な施策を検討していきます。	継続 (現状維持)
(1)就職相談・情報提供事業	0	★★★★	引き続きハローワーク津島と連携し、就業相談等の情報提供を行い、就業を促進していきます。また、広報やリーフレット等を活用して、引き続き市民へ周知を図っていきます。	継続 (現状維持)
(2)「ファミリーフレンドリー企業制度」・「あいっこ家庭教育応援企業」等普及事業	0	★★★★	愛知県の実施する、あいちワーク・ライフ・バランス行動計画と連携しながら、市広報誌や市ホームページ等を活用した情報提供や啓発活動による周知を図ることで、ファミリーフレンドリー企業登録数の増加を目指します。	継続 (現状維持)
(3)消費者行政事業	1,542	★★★★	現在、国・県補助金、海部地域の市町村の負担金で海部地域消費生活センターを運営しています。令和8年度以降、国の補助金が廃止となる予定のため、市町村負担金が増加することとなります。しかし、消費者相談が増加している現状において、相談員の確保、相談窓口の設置等、市町村単独での運営は難しいため、国、県に引き続き補助金支援を行うよう働きかけて行く必要があります。	継続 (現状維持)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
失業者に対し、ハローワーク津島と連携した就職相談や情報提供などにより、雇用機会の確保を図っていきます。また、失業者等へは、国・県の支援策等を広報やホームページに掲載することや、リーフレットなどを作成して周知していきます。